

聾学校地域支援だより



サマースクール 2024 開催



親の会では、7月30日に聾学校の通級指導教室、高校通級を利用していた伏木和香さんとお母様をお迎えし、講演をしていただきました。伏木さんは地域の小学校・中学校・高等学校を卒業され慶應義塾大学に進学、環境情報学部にて3DCGやデジタルツインなどの研究をされています。講演では、自身の経験をもとに学校生活の過ごし方や気を付けていたことなどについてお話をいただきました。

講演の様子



講演のはじめに、伏木さんから自分の生き立ちや障がいの程度、大学での取り組みなどについてお話をいただきました。その後のお話の中でも、「周りをよく見て動いたり、先読みして動いたりしていた。」や「早めに受験の対策をはじめた。」など、聞こえないことはハンデであり、マイノリティであることを認識しながらも、その中で周りの人と関わっていくために必要なことや「難聴だからと諦めたくない」「勉強も部活でも成果を出すために何が必要か。」などをご自身の経験をもとにお話してくださいました。

小学生の時

低学年の時には難聴であることを気にしていなかったが、3年生頃から「聞こえない自分」「マイノリティ」であることを認識。人間関係がうまくいかないこともあった。

だが、「聞こえないハンデがありながら周りとうまくやるには？」と考え、周りをよく見て、見通しをもって行動したり、予習をしてから授業に臨んだりすることを心がけていた。その結果、理解してくれる友達の大切さに気づき、勉強にも遅れることなく小学校生活を送ることができた。

中学生の時

「難聴だから諦めたくない」「勉強も部活も成果を出したい」と考え努力を重ねた。勉強では家庭での予習や早めにテストの対策を行ったり、授業やテストでの配慮を事前をお願いしたりしていた。部活動でも顧問の先生とできる事できないことを相談し活動を行っていた。高校入試に向けても、早めに先生方と相談し配慮手続きの準備を進めた。

高校生の時

コロナ禍だったため、「マスクで口元が見えない」「オンラインの音声聞き取りにくい」などコミュニケーションがとりにくい環境が増えた。だが、グループワークでは文字に書き出してもらい、オンライン授業では、友達に後で確認をとったり、教科書で確認したりするなど工夫をして取り組んだ。

2年生の冬に志望校を決定。入試に向けて早く準備を始めた。

講演後には、保護者や生徒からの質問にも答えていただき、充実した時間を過ごすことができました。

講演の感想

- ・私も「あっ、大丈夫です」「特に…」といつものごしてしまっていたと、聞いて気づくことができました。これからは勇気を持って、自分の正直な気持ちを伝えてみようと思いました！！【生徒】
- ・本人が自ら授業等の配慮を先生に伝えなければならない事が今後増えると思うので、自分でそのような配慮について他の人に伝えられるようになってほしいと思いました。【保護者】
- ・高校受験、大学受験で配慮申請が大切であることを知ることができました。難聴を理由にできることに線引きしていましたが、そうでないことに気がきました。色々なことにチャレンジさせていきたいと思います。【保護者】

サマースクール〈集団遊びの様子〉

小学生は、「ボウリング」で遊びました！活動の様子です！

ビーズやシールなどを使ってオリジナルのピンを作ったよ

かわいいピンができたよ

うまく転がったかな？

たくさん倒せた！

みんなの感想

- ・みんなと遊べてうれしかったし、工作のペットボトルがうまく作れたので、とても楽しかったです！
- ・ボウリングを作ったり、コースを作ったり、点数を書いて、点を決められて楽しかったです。自分のチームがまけてしまったので少しくやしかったです。
- ・シールを貼るのとかかざりつけが楽しかった！

聴覚障害支援センターのチラシが新しくなりました！

群馬県立聾学校 聴覚障害支援センター

〒371-0802 群馬県太田郡第一丁目4番地
TEL: 027-243-2239 FAX: 027-243-6255
E-mail: rou-kyu@edu.s.pn.ed.jp

小・中学校、高等学校等サポート事業
各学校・園等からの依頼を受け、直接訪問して相談を行います

群馬県立聾学校
聴覚障害支援センター
乳幼児教育相談 地域連携部
O. 1, 2歳児 連絡指導 教育相談
S. 4, 5歳児
各学校・園等

対象 (保育) や生活の様子を学級 先生方との話し合い 職員研修の協力

〇内容
・きこえの仕組み
・聴覚障害について
・接遇のこと
・言語指導
・配慮や支援について
・自己認識 (障害認識) について
・自立活動について
・発音に関すること
・話し方について (吃音など)
・60分コース会議の開催に係る助言・協力

〇対象
・小・中・高の通常の学級に在籍する聴覚や言語に障害のある児童生徒が聾学校に
通って指導を受けられる「通級による指導」を行っています。

〇詳しくは
本校ホームページ、聴覚障害支援センター 通級指導教室Q&Aをご覧ください

まずは御連絡ください
①所属長名
②事務取扱者名
③曜日
④時間
⑤連絡 (住所、電話)
⑥支援内容
⑦お願したい教職員名

詳しくは、群馬県立聾学校ホームページ内の聴覚障害支援センター紹介のページからご覧ください。

